

## 2019 年度 構造力学 II 演習問題 1 解答

### 問題 1.

問題で与えられた梁を図 1 に示す 2 つの系の重ね合わせで表現する．このとき，2 つの系の曲げモーメント  $M_1$  と  $M_2$  を，釣り合い条件から求めると，

$$M_1 = \begin{cases} -Fx & (0 < x < l/2) \\ -\frac{F}{2}s = -\frac{F}{2}(l-t) & (0 < s < l) \end{cases} \quad (1)$$

$$M_2 = \begin{cases} 0 & (0 < x < l/2) \\ \frac{F}{2}t & (0 < t < l/2) \\ \frac{F}{2}s & (0 < s < l/2) \end{cases} \quad (2)$$

と表され，問題で与えられた系の曲げモーメント  $M$  はこれらの和で与えられる．ただし， $x, s$  および  $t$  は図 1 に示した座標を表す．これらの結果を曲げモーメント図として表すと，同図の下側に示したようになる．単位荷重法を用いて点 A のたわみを求めるには，図 1-(a) において  $F = \tilde{F} = 1$  としたものを補助系として用いればよい．このときの曲げモーメントを  $\tilde{M}$  とすれば， $i = 1, 2$  に対して

$$\int_A^D M_i \tilde{M} dx = \int_{x=0}^{l/2} M_i \tilde{M} dx + \int_{t=0}^{l/2} M_i \tilde{M} dt + \int_{s=0}^{l/2} M_i \tilde{M} ds, \quad (i = 1, 2) \quad (3)$$

であるから，右辺の積分を一つずつ計算すると，

$$\int_A^B M_1 \tilde{M} dx = \int_0^{l/2} M_1 \tilde{M} dx = \int_0^l (-Fx)(-\tilde{F}x) dx = \frac{Fl^3}{24} \tilde{F} \quad (4)$$

$$\int_D^B M_1 \tilde{M} ds = \int_0^l M_1 \tilde{M} ds = \int_0^l \left(-\frac{Fs}{2}\right) \left(-\frac{\tilde{F}s}{2}\right) ds = \frac{Fl^3}{12} \tilde{F} \quad (5)$$

$$\int_B^C M_2 \tilde{M} dt = \int_0^{l/2} M_2 \tilde{M} dt = \int_0^{l/2} \left(\frac{Ft}{2}\right) \left(-\frac{\tilde{F}}{2}(l-t)\right) dt = -\frac{Fl^3}{48} \tilde{F} \quad (6)$$

$$\int_D^C M_2 \tilde{M} ds = \int_0^{l/2} M_2 \tilde{M} ds = \left(\frac{Fs}{2}\right) \left(-\frac{\tilde{F}s}{2}\right) ds = -\frac{Fl^3}{96} \tilde{F} \quad (7)$$

となることが示される．以上に  $\tilde{F} = 1$  を代入して用いれば，

$$\int_A^D M \tilde{M} dx = \int_A^D (M_1 + M_2) \tilde{M} dx = \frac{3}{32} Fl^3 \quad (8)$$

となることから，A 点のたわみ  $v_A$  が

$$v_A = \frac{3}{32} \frac{Fl^3}{EI} \quad (9)$$

と求められる．

### 問題 2.

問題で与えられた系を，図 2 に示す 2 つの系 1 と 2 に分解する．系 1 と系 2 の点 B におけるたわみを，それぞれ  $\delta_1, \delta_2$  と表す．系 1 と 2 の曲げモーメント  $M_1$  と  $M_2$  を力の釣り合いから求めると， $M_{1,M} 2$  は

$$M_1 = \begin{cases} -\frac{1}{2}q_0x^2 & (0 < x < 2l/3) \\ -\frac{2}{3}q_0l^2\left(\frac{s}{l} + \frac{1}{3}\right) & (0 < s < l/3) \end{cases} \quad (10)$$

$$M_2 = \begin{cases} 0 & (0 < x < 2l/3) \\ R_B s & (0 < s < l/3) \end{cases} \quad (11)$$

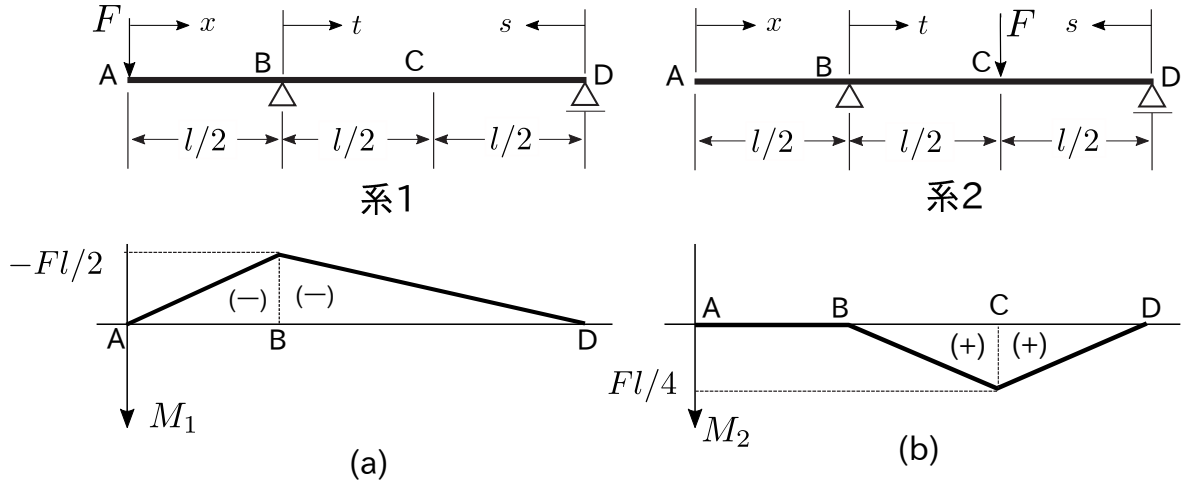


図 1: 問題 1 で与えられた系の 2 つの系 1 と 2 への分解と曲げモーメント図.

となる．ただし， $x$  と  $s$  は図 2 に示したような座標を表す．これらの結果を曲げモーメント図として示せば，図 2 の下側のようなである．単位荷重法によって  $\delta_1, \delta_2$  を求めるための補助系は，系 2 において  $R_B = -1$  とおけばよい．その結果として得られる曲げモーメント分布を  $\tilde{M}$  と表せば， $\int_A^C M_i \tilde{M} dx$ , ( $i = 1, 2$ ) は，

$$\int_A^C M_1 \tilde{M} dx = \int_0^{l/3} M_1 \tilde{M} ds = \int_0^{l/3} -\frac{2}{3} q_0 l^2 \left( \frac{s}{l} + \frac{1}{3} \right) (-s) ds = \frac{5}{243} q_0 l^4 \quad (12)$$

$$\int_A^C M_2 \tilde{M} dx = \int_0^{l/3} M_2 \tilde{M} ds = (R_B s) (-s) ds = -\frac{R_B l^3}{81} \quad (13)$$

となるので，

$$\delta_1 = \frac{5}{243} \frac{q_0 l^4}{EI}, \quad \delta_2 = -\frac{R_B l^3}{81 EI} \quad (14)$$

が得られる．そこで， $\delta_1 + \delta_2 = 0$  とすることで，B 点における反力  $R_B$  が

$$R_B = \frac{5}{3} q_0 l \quad (15)$$

と決まる．これを式 (10) と式 (11) に代入して  $M_1 + M_2$  を計算することで，問題で与えられた梁の曲げモーメント分布を得ることができる．その結果を曲げモーメント図として示せば，図 3 のようになる．

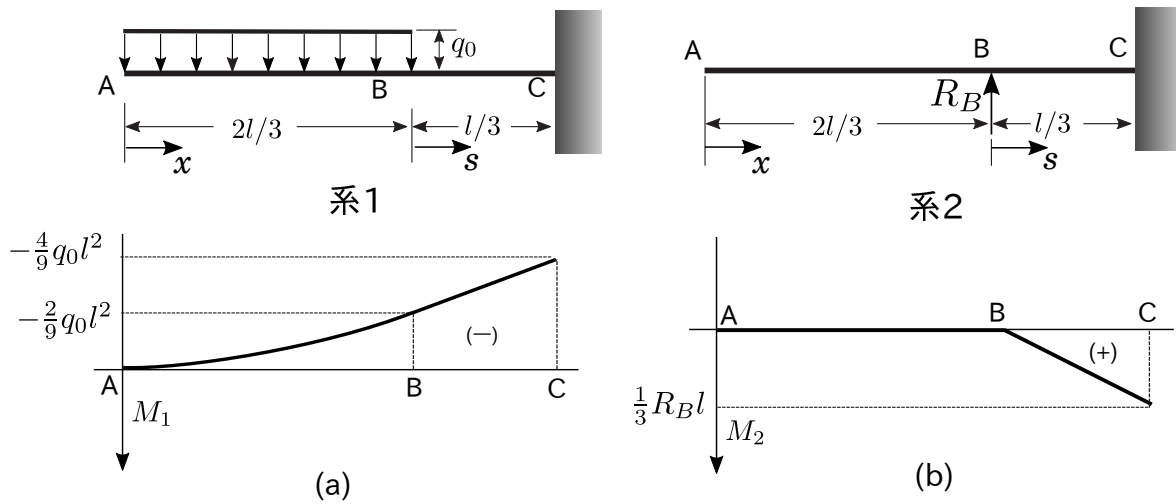


図 2: 問題 2 で与えられた系の 2 つの系 1 と 2 への分解と曲げモーメント図.

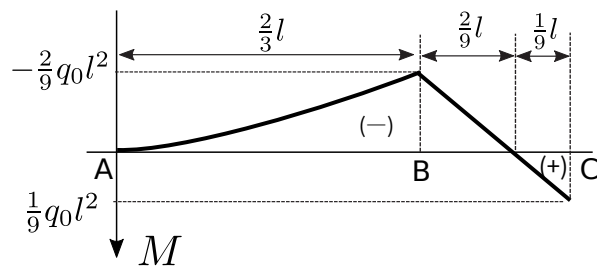


図 3: 曲げモーメント図 (問題 2).